

ごあいさつ



会長
河村 正雄



理事長
高橋 知史

皆さま方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当金庫に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度の日本経済は年前半、インバウンド需要の拡大、堅調な輸出、ラグビーワールドカップ等のスポーツイベントの開催など、景気活性化への動きが見られました。

しかし、年後半からは消費税増税や米中貿易摩擦、さらには新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で社会生活に大激震が走り、株式市場、為替市場もこれまでと様相が一変しました。

中小企業も従来からの人手不足や事業承継問題等の構造的課題を抱えていたなかで、同ウイルスによる経済活動の急減速が与える影響は甚大で資金調達や経営支援に対する官民一体となった支援体制が急務となりました。

これまで以上に迅速かつ安定した資金の供給が不可欠であり、当金庫においても同ウイルスの影響による資金繰り安定のための相談窓口の開設、緊急支援融資の実施等、いち早く取り組みました。

また、さらなる金融の動きとしてキャッシュレス決済の浸透や5Gサービスの開始に見られる一層のデジタル化で金融業務への異業種参入が本格化するなど、今まで以上にお客さまの目線に立ったサービス価値の創造が求められました。

これを受けて中期経営計画「Best Partner 2019」のテーマである「お客さまの課題解決No.1 金庫の実現」のもと、合併成果による企業価値の向上など、あらゆる課題に取り組みました。さらに、お客さま保護に向けてマネー・ローンダリングや特殊詐欺などの金融犯罪防止、サイバーセキュリティ対策の強化を図ったほか、BCP(業務継続計画)の実効性確保など、内部管理態勢を一層強固なものとししました。

その結果、令和元年度決算も前年度に引き続き安定した業績を確保し、健全性を高めております。

今年度は新中期経営計画「Smart Shinkin 2022」をスタートさせ、「信用金庫であり続ける」という新たなテーマを掲げて地域密着による課題解決No.1の信用金庫を目指してまいります。

これからも「三者共栄」(お客さま(地域)・金庫・職員)の経営理念と「信頼で地域とつながる」のスローガンのもと、お客さまのニーズにしっかりお応えできるよう、役職員一体となり地域金融機関としての使命を果たしてまいります所存でございます。

本冊子は、大阪シティ信用金庫の経営方針や経営の現状について、できるだけわかりやすくお示ししたものです。何とぞご高覧のうえ、当金庫に対するご理解を深めていただき、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

令和2年7月

会長 河村 正雄

理事長 高橋 知史